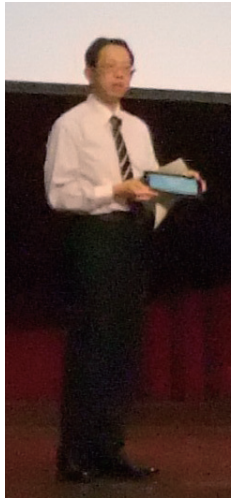


就学問題・損害賠償滞る

東京大学 シンポジウム 東電は社員全員で除染



シンポジウム「日本のエネルギーの今後と持続

シンポジウム「日本のエネルギーの今後と持続」の今後と持続する発展(東京大学生産技術研究所など主催)がこのほど、東京大学・本郷キャンパスで開催され、「原子力問題に正面から取り組み」と題するセッションで、福島県の内堀雅雄副知事、東京電力の相澤善吾副社長らが原子力災害被災地復旧への課題・取組について発表を行った。

将来のエネルギー情勢を巡り、電力業界のあり方や産業復興の展望などに関する講演に続き、壇に立った内堀副知事(写真)は、「FUKUSHIMAの未来」と題する発表で、県民の約八割相当が避難生活にある状況下、富岡町におけるタレット端末や町民電話帳配布を通じ、住民

全員が除染作業に」などと述べ、今後の被災地復興に対する取組強化の姿勢を示すなどした。

これに対し、東京電力・相澤副社長は、事故炉の廃止措置対策、原子力改革の状況等を説明、社員

強度レーザー光に優れた耐性

島津製作所 ミラーおよびコーティング開発

島津製作所はこのほど、日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門と共同で、世界最高クラスの高強度レーザー光に耐性を持つレーザーミラーおよび高耐カAARコーティング(反射防止膜)を開発したと発表した。

アモルファス(非晶質)膜である誘電体多層膜に高強度なレーザー光が照射されると、誘電体多層膜の結晶化が進み、結晶化された部分から順次破壊が起きることを発見した。結晶化しにくいアモルファス膜ほど高強度のレーザー光に耐性を持つという研究成果を元とし、成膜中の多層膜に酸素イオンを照射する技術の導入および多層膜の成膜スピードなどの条件の最適化により、結晶化しにくい誘電体多層膜の成膜技術の開発に成功した。さらに、最適な多層膜材質を選定し、独自の設計手法を駆使して、反射率・面精度・表面品位を備えた世界最高クラスの耐性を持つレーザーミラーを開発した。こうした一連の技術により、レーザーミラー(側)はタービン建屋の天井部分に、西側は地上部分に作って支える構造とする。余震にも対応するため、燃料プールフロアには横揺れ止めの装置、制震装置も設けることとしている。

ハザマ技術研究所が20周年公開

間組

間組は十六日、茨城県つくば市にあるハザマ技術研究所で『つくば開設技術力を訪れた来場者』を開催。一般に同研究所内を公開し、大型振動台を用いた地震解析のデモンストレーションや、除染や放射線遮蔽部材等のパネル展示を実施、同社の技術力を訪れた来場者にアピールした。

同社は原子力機構が中心となって実施した除染モデル実証事業に参加しており、その成果を生かし、福島県内各地での除染作業を手がけている。具体的には、国直轄の事業として浪江町での先行除染を実施しているほか、今後は伊達市、いわき市でも除染作業も受注している。

耐震・構造で公開講座と見学会

新潟工科大学

新潟工科大学原子力耐震・構造研究センターは十日、公開講座および施設見学会を開催した。同大は、中越沖地震を踏まえ二〇一〇年、原子力安全基盤機構(JNEC)、東京電力と協働し同センターを設置。原子力安全に係る耐震・構造等についての最先端研究を進めると共に、国際原子力機関(IAEA)等と連携して研究成果を国内外に発信している。

講座ではS・サマターIAEA国際耐震安全センター長、IAEA耐震調査団長(写真)、M・ボンホフ・ドイツ地質研究センター教授/ユネスコ・ナトリウム断層調査、A・ギルヒナー元IAEA耐震安全課長/IAEA柏崎・福島調査団員を講師に迎えた。見学会では、「地震・津波に対する原子力敷地外も含む原子力防災システム(TIPEDZ)」や三千ヶ所深部地震動観測システム等を紹介した。

安全性向上で国際シンポジウム

JANSI

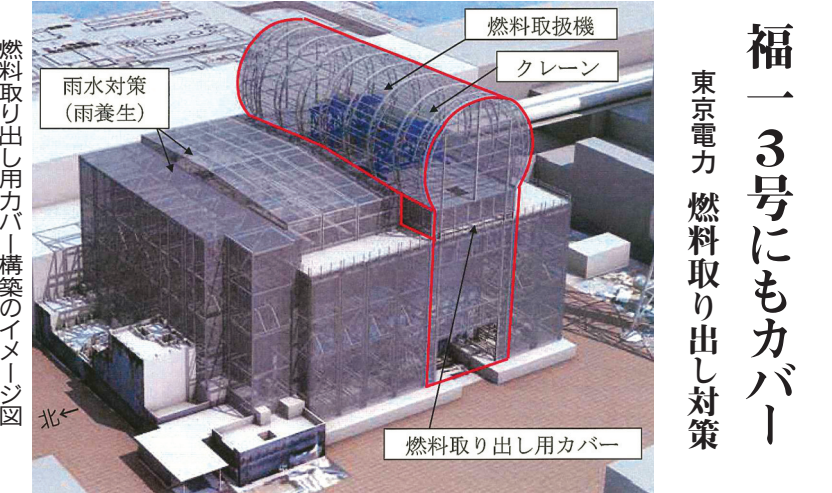
原子力安全推進協会(JANSI)は十二月十八日午前九時半より、東京の日本科学未来館みらいCANホールで、国際シンポジウム「原子力

燃料取り出し用カバー

東京電力 燃料取り出し対策

東京電力は十四日、福島第一原子力発電所1号機(4号機)の「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画のうち、記載内容の一部を変更し、より具体的な対策を盛り込んだ。

そのうち3号機の使用済み燃料プール内にある使用済み燃料などを取り出すため、水素爆発で破壊された原子炉建屋の上部に、鉄骨やコンクリートなどの瓦礫を撤去したあと、屋上に燃料取り出し用のカバーを設置する。カバー内部に燃料を搬入するクレーンや燃料取扱機を設置し、また、



燃料取り出し用カバー構築のイメージ図

世界で最も信頼されている原子力産業情報誌

Nuclear Fuel / ニュークリアー・フューエル

プラッツ・ニュークリアー・フューエルは、全世界の核燃料サイクル情報を網羅した情報誌です。原子力産業界の政策や価格動向について鍵となる情報を、隔週で提供しています。

Nucleonics Week / ニュークレオニクス・ウィーク

1960年の創刊以来、プラッツ・ニュークレオニクス・ウィークは原子力発電業界の意思決定サポートツールとして、業界に不可欠な産業ニュースを正確かつ客観的にお伝えしています。

弊社サービスについてはプラッツ東京オフィスまでお気軽にお問い合わせ下さい。
営業代表番号(担当:新藤・吉川)/03-4550-8300 Eメール/tokyo@platts.com ホームページ/www.platts.com



プラッツについて
プラッツはニューヨーク証券取引所に上場するマグロー・ヒルカンパニーズの一員で、エネルギーや金属市場の情報を配信する世界最大規模を誇る独立系通信社です。